

令和6年9月13日、加須市新川通地先にあるカスリーン公園のカスリーン台風決潰口跡の碑を前に、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、この教訓を風化させることなく後世に語り継ぎ、利根川の治水事業の重要性を広く理解していただくことを目的として、「治水の日」慰霊・継承式典を開催しました。

当日は、御遺族2名をはじめ、国会議員12名（代理6名）、関係沿川首長等6名（代理2名）、関係自治体議会議長等4名・都県行政機関4名（代理3名）に臨席をいただき、関東地方整備局長・河川部長・利根川上流河川事務所長の出席のもと（計31名）執り行いました。

献花・黙祷の後、加須市長・久喜市長・利根川上流河川事務所長による決意文の宣誓が行われ、流域の関係者と連携して一体となり、新たな決意をもって利根川の治水対策に邁進していくことを誓いました。



御遺族による献花



関東地方整備局長挨拶



利根川上流河川事務所事務所長による決意文の宣誓



加須市長による決意文の宣誓



久喜市長による決意文の宣誓